

数学科	3年	年間140時間（4時間/週）
-----	----	----------------

1 年間計画

学期	月	単元	章（小単元）
1 学期	4	多項式	多項式の計算 因数分解 式の計算の利用 深い学び ・パフォーマンス課題 単元の振り返り
	5		
	6		
		平方根	平方根 根号をふくむ式の計算 深い学び ・パフォーマンス課題 単元の振り返り
		2次方程式	2次方程式とその解き方 2次方程式の利用 単元の振り返り
	7		
2 学期	8		
	9		
	10		
		関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$ 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 いろいろな関数の利用 単元の振り返り
		相似な図形	相似な図形 平行線と比 相似な図形の面積と堆積 深い学び ・パフォーマンス課題 単元の振り返り
	11		
3 学期	12	円	円周角の定理 円周角の定理の利用 単元の振り返り
	1	三平方の定理	三平方の定理 三平方の定理の利用 単元の振り返り
	2		
		標本調査	標本調査 単元の振り返り
	3		

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	・数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数値化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	☐ 確認テスト ☐ 小テスト ☐ 単元テスト	☐ 定期テスト
思考・判断・表現	数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	☐ 確認テスト ☐ 小テスト ☐ 単元テスト	☐ 定期テスト ☐ パフォーマンス課題
主体的に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとしたりしている。	☐ 授業での発言やつづき	☐ 小テストから単元テストへの変容 ☐ パフォーマンス課題 ☐ ワークの取組

○形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価

○総括的評価…各学期や年間をとおしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価

○通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

- 教科書（「新しい数学 3」（東京書籍））、ノート（B5 版）、ワークを毎時間準備します。
- 基礎的な知識を身に付けるためには、教科書に書かれていることを読み取ることが大切です。预习として、次の授業で学習する内容の「問題」は何か、その問題を解決するためにどのような「見通し」をもてばよいのかなどを読み取ることが望ましいです。
- 学んだことを定着させるためには、復習することが効果的です。授業後に家庭学習としてワークに取り組むと効果的です。さらに、タブレット（eライブラリには、たくさんの教材が用意されています）を使って、自分の課題に応じた問題等に取り組むことが望ましいです。
- ワークは今年中に2回提出してもらいます。授業で説明したときに配布した「ワークの取り組み方について」をよく読んで進めてください。
- 3つの単元末に、パフォーマンス課題を位置付けています。探究的な課題に取り組みレポートを作成します。パフォーマンス課題は総括的評価の「思考・判断・表現」と「主体的に取り組む態度」の評価に加えます。